

計画の名称	相模湾の港湾における安全で快適な港づくり												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)												
交付対象	神奈川県, 大磯町												
計画の目標	<p>【真鶴港】 真鶴港活性化整備計画に基づき、第3物揚場及び南船揚場を改良し、産業活性化に向けた基盤を整備する。</p> <p>【大磯港、湘南港、葉山港】 港湾施設を適切に維持するため、維持管理計画を策定する。地方港湾、漁港、マリナーと連携した相模湾クルージングツアー活性化のための基盤整備を行う。</p> <p>【湘南港】 東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が開催される湘南港において、必要な環境整備を着実に進行。</p>												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	1,897	A	1,737	B	0	C	160	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	8.43	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成27年度		平成31年度
1	<p>【真鶴港】 物揚場及び船揚場の改良により、水面係留12隻及び陸置9隻を可能とし、産業を活性化する。</p> <p>【真鶴港】 真鶴港における施設の利用率 = (利用施設の延長) / (施設延長) (%)</p>	0%	%	100%
2	<p>【大磯港、湘南港、葉山港】 維持管理計画を策定する必要がある11施設について、同計画を策定する。</p> <p>【大磯港、湘南港、葉山港】 維持管理計画を策定する必要がある港湾施設のうち、策定が完了した施設の割合 = (計画を策定した施設数) / (計画を策定する必要がある港湾施設数) (%)</p>	0%	%	100%
3	<p>【湘南港】 臨港道路を改良し交通の円滑化を図り、車両通行時間を短縮する。緑地 (トイレ等) の改良や港湾施設のバリアフリー化により、港湾利用者の利便性の向上を図り、港湾緑地への来訪者を増加する。</p> <p>【湘南港】 国道134号江の島入口交差点から湘南港管理事務所までの車両での通行時間 国道134号江の島入口交差点から湘南港管理事務所までの車両での通行時間</p>	62分	分	17分
4	<p>【相模港の港湾】 相模港の港湾を利用したクルージングツアーを増加させる。</p> <p>【相模港の港湾】 相模港の港湾を利用したクルージングツアー客数</p>	0人	人	100人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

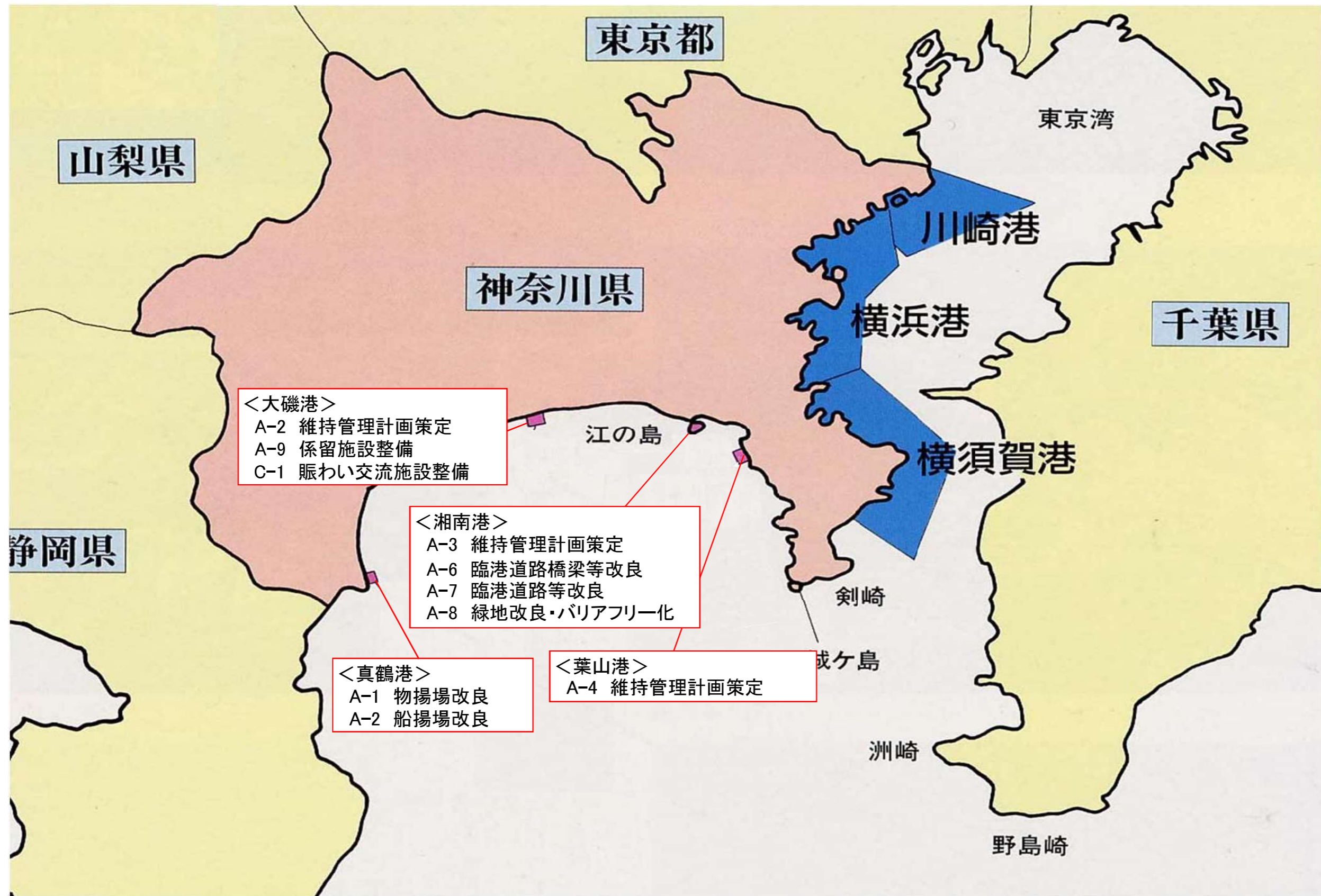
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	A02-001	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	物揚場改良	物揚場改良 L=76m	真鶴港 真鶴地区	■	■	■	■	■	198		—	
	A02-002	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	船揚場改良	船揚場改良 L=30m	真鶴港 真鶴地区	■	■	■	■	■	72		—	
	A02-003	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	—	維持管理計画策定	調査・計画策定 N=5施設	大磯港 大磯地区		■				6		—	
	A02-004	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	—	維持管理計画策定	調査・計画策定 N=3施設	湘南港 江の島地区		■				6		—	
	A02-005	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	—	維持管理計画策定	調査・計画策定 N=3施設	葉山港 堀内地区		■				3		—	
	A02-006	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	臨港道路橋梁等改良	橋梁等改良 L=324m	湘南港 江の島地区		■	■	■		498		—	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	A02-007	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	臨港道路等改良	道路等改良 L=1545m	湘南港 江の島 地区		■	■	■	■	384		—	
	A02-008	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	緑地、係留施設改良・パ リアフリー化	緑地改良 1式、浮き栈橋改 良 1式	湘南港 江の島 地区		■	■	■	■	360		—	
	A02-009	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	係留施設整備	係留施設整備 1式	大磯港 大磯地 区				■	■	210		—	
												小計						1,737		
												合計						1,737		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	一般	大磯町	直接	大磯町	地方	改良	賑わい交流施設整備	賑わい交流施設整備 N=1 式	大磯港 大磯地区				■	■	160		—
		大磯港のみなどオアシス（賑わい交流施設）を整備することにより、大磯港のみならず海上から連携する湘南港、葉山港の賑わいをあわせて創出させるもの																	
											小計						160		
											合計						160		

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

計画の名称	相模湾の港湾における安全で快適な港づくり		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	神奈川県



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	2	167	100	70	86
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	2	167	100	70	86
前年度からの繰越額 (d)	0.0	1.7	157	86	44
支払済額 (e)	0	5.2	171	113	20
翌年度繰越額 (f)	1.7	163	86	44	103
うち未契約繰越額(g)	0	163	6	6	10
不用額 (h = c+d-e-f)	0.3	0.5	0.0	0.0	6.2
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	15.0	97.0	2.2	4.0	12.7
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合 その理由	実施部分の概算費用が 確定したため	基本計画の策定・変更 に不測の日数を要した ため			埋設物の対策検討に不 測の日数を要したため

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 相模湾の港湾における安全で快適な港づくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性（計画の目標が港湾の整備計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。）	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 課題を踏まえた目標を設定し、課題への対応方針が妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性	
①地元の機運 1) 多様な主体との連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性	
①地元の機運 2) 地元や地元市町との調整が図られている	○
III. 計画の実現可能性	
②円滑な事業執行の環境 1) 住民等の合意形成が整っている。	○
III. 計画の実現可能性	
②円滑な事業執行の環境 2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○